

# 来春統合の能代西高 最後の運動会 クラスが一丸



だし運び競走で育苗箱を崩しながらもゴールを目指す生徒

来春に能代工業高校との統合を控えた能代市の能代西高（藤田仁志校長、178人）で12日、統合前としては最後の運動会「ギネス大会」が開かれ、快晴の下、生徒と教員が各種競技を通じて親交を深めた。

大会名は、自校での各競技の最高記録を「西高ギネス記録」と名付け、更新を目指していることにちなむ。23回目となった今年は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、午前のみの開催に縮小した。

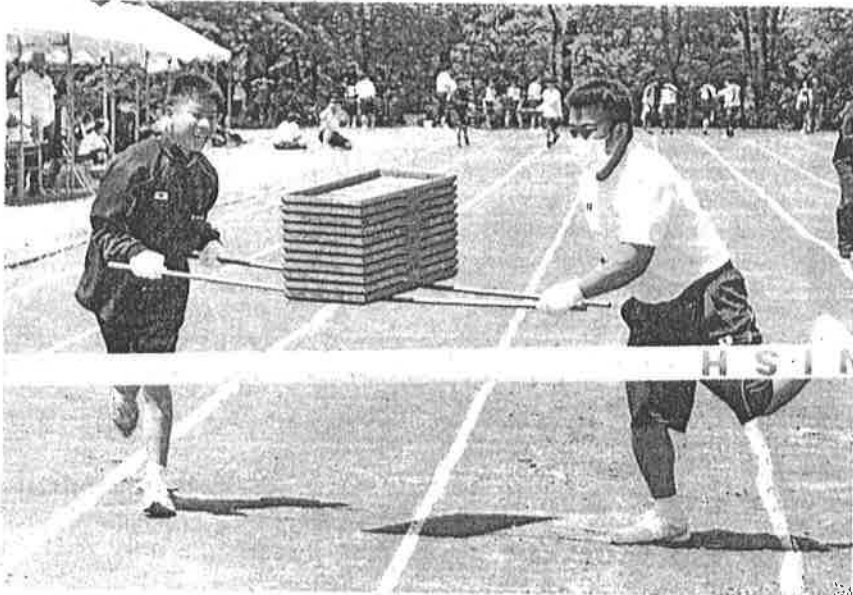
## (↑)秋田さきがけ

2020年(令和2年)6月13日 土曜日

## (↓)北羽新報

競技はクラス対抗で、100以走、ハンドボール投げなど8種目。2人一組で2本のさおの上に載せた育苗箱を運ぶ「だし運び競走」では、息が合わず箱を崩してしまったりペアも、教職員も参加したりレーでは、生徒らが「頑張れ」と熱い声援を送った。

100以走に出場した菊谷愛樹さん(17)は3年間はスタート後に勢い余って転倒。最後の大会で転ぶとは思わなかった。これもいい思い出になると笑った。(棟方幸人)



多彩な種目が行われた能代西高のギネス大会

# だし運び息合わせ

能代西

ルスの感染防止のため、接触機会の多い種目を取りやめたり、1種目当たりの参加人数を減らしたほか、競技前の手指の消毒を徹底した。

開会式に続き、代表選手による100以走や長距離走、走り幅跳びなどトラックとフィールドでそれぞれ競技を実施。このうち、育苗箱を2人一組でゴールまで落とさずに運ぶ「だし運び競走」では、各クラスから選ばれた選手たちがクラスメートの声援を受けながらスタート。息を合わせて運び、落とさずコースを走り抜けると盛大な拍手が送られていた。

またファイナレを飾るクラス対抗リレーでは、担任教諭も加わりグンチームで全力疾走。頂点を目指して白熱したレースを繰り広げた。

3年生の田代大河君は「大会を最後まで楽しむことができた。だし運び競走では最後まで諦めず協力して完走できた」と笑顔を見せていた。

同校では新型コロナウイルス

能代西(藤田仁志校長、全校生徒178人)のギネス大会は、同校グラウンドで開かれた。徒競走やクラス対抗リレーのほか、育苗箱

